

2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 八代市 (都道府県:熊本県)

1. 当該地域の情報 (2020年1月現在)

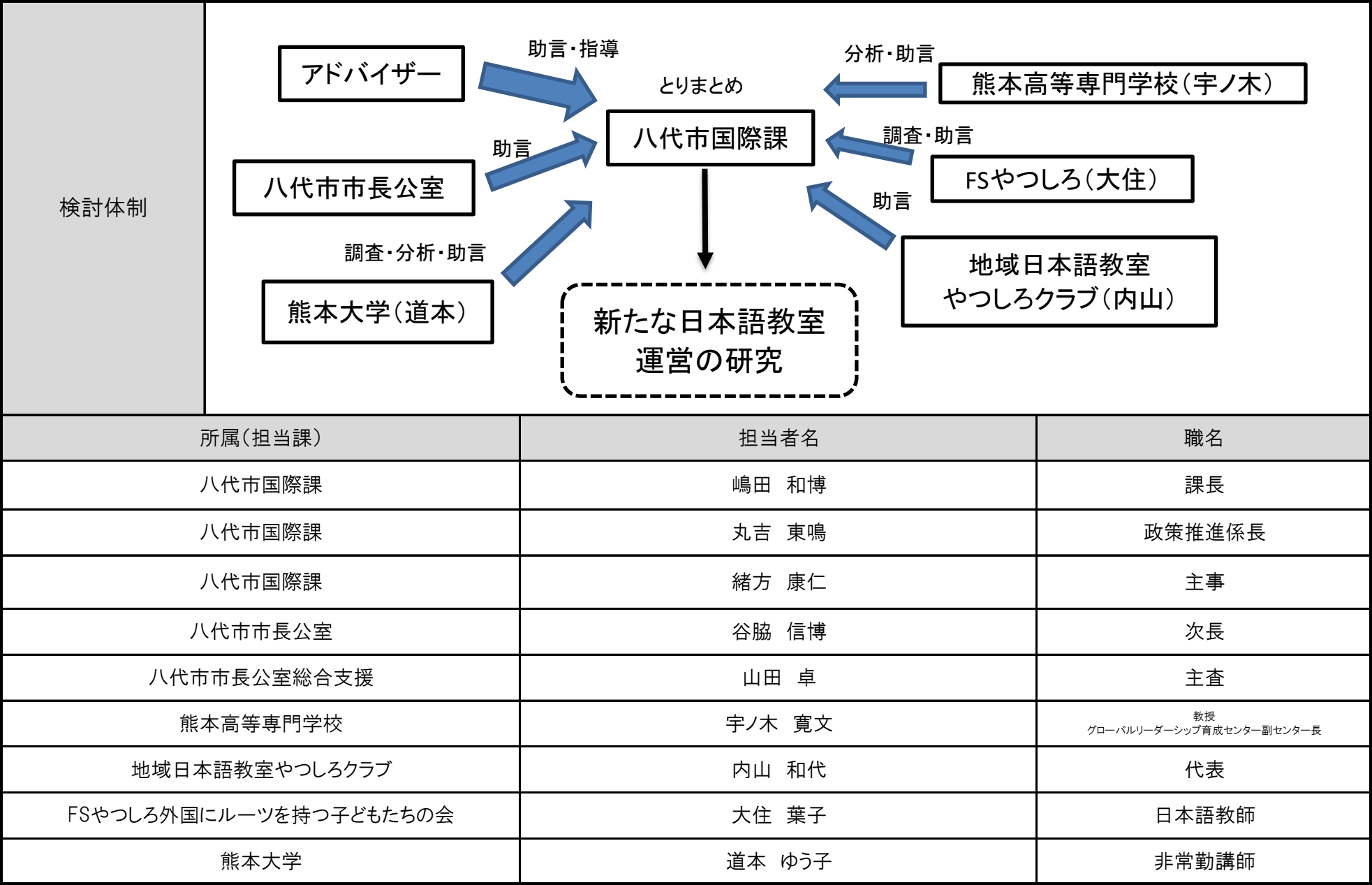
地域の課題	・現在日本語教室を運営しているボランティア団体の構成員の高齢化のため、今後持続可能な運営が行えるか懸念しており、空白地域になりかねない状況。 ・本市の地勢において、面積が広いことから地域によっては日本語教室の会場まで気軽に通えない外国人市民が多い。 ・他自治体では国際交流協会が主となって日本語教室を運営しているケースがあるが、本市にはそうした組織がない。 ・平成31年3月に本市は「やつしろ国際化推進ビジョン」を策定しており、その基本指針に基づいて、八代市の現状に合った教室を展開するため、ボランティア任せでなく行政主導で、広く一般市民に参加を呼びかけ、事業を展開する必要がある。																																																																																																																										
在住外国人数 外国人比率	2. 13%(外国人数:2,702人、総人口126,598人) R2.1月末																																																																																																																										
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】ベトナム(1,130人)、フィリピン(692人)、中国(479人)、カンボジア(160人) 八代市の外国人数推移 <table><tr><th>年度</th><th>総人口</th><th>外国人数</th><th>中国</th><th>フィリピン</th><th>韓国</th><th>ベトナム</th><th>カンボジア</th><th>米国</th><th>英国</th><th>カナダ</th><th>その他</th></tr><tr><td>平成26年度</td><td>130,911</td><td>1,402</td><td>692</td><td>262</td><td>32</td><td>255</td><td>19</td><td>7</td><td>1</td><td>4</td><td>130</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>130,023</td><td>1,590</td><td>635</td><td>308</td><td>31</td><td>451</td><td>34</td><td>8</td><td>2</td><td>4</td><td>117</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>129,358</td><td>1,904</td><td>577</td><td>378</td><td>71</td><td>692</td><td>60</td><td>8</td><td>2</td><td>4</td><td>112</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>128,311</td><td>2,098</td><td>495</td><td>479</td><td>58</td><td>841</td><td>83</td><td>2</td><td>9</td><td>5</td><td>126</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>127,306</td><td>2,474</td><td>480</td><td>625</td><td>42</td><td>1,048</td><td>110</td><td>9</td><td>3</td><td>4</td><td>153</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>126,598</td><td>2,702</td><td>479</td><td>692</td><td>35</td><td>1,130</td><td>160</td><td>12</td><td>3月</td><td>5</td><td>189</td></tr></table> ※データは各年度3月末時点のデータを引用、令和元年度においては1月末データを引用 【在留資格】 <table><tr><th>技能実習 2号口</th><th>技能実習 1号口</th><th>永住者</th><th>技能実習 3号口</th><th>技術・人 文知識・ 国際業務</th><th>日本人の 配偶者等</th><th>留学</th><th>興行</th><th>定住者</th><th>特別永住 者</th><th>家族滞在</th><th>特定活動</th><th>教育</th><th>特定技能 1号</th><th>技能</th><th>経営・管 理</th><th>永住者の 配偶者等</th><th>高度専門 職1号口</th><th>計</th></tr><tr><td>1,277</td><td>691</td><td>208</td><td>104</td><td>90</td><td>69</td><td>58</td><td>49</td><td>38</td><td>33</td><td>20</td><td>17</td><td>16</td><td>16</td><td>7</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>2,702</td></tr></table> 【滞在年数・在留期間などの状況】技能実習生が多いことから3年で帰国する外国人が多い。 【傾向】八代市は、人口減少に伴い基幹産業である農業や製造業を中心に担い手が不足していることから外国人材の導入が活発化している。特に技能実習生の受け入れが近年多く、主にベトナム、フィリピン、中国といった国籍が多い。最近ではカンボジアからの技能実習生も増加傾向にある。	年度	総人口	外国人数	中国	フィリピン	韓国	ベトナム	カンボジア	米国	英国	カナダ	その他	平成26年度	130,911	1,402	692	262	32	255	19	7	1	4	130	平成27年度	130,023	1,590	635	308	31	451	34	8	2	4	117	平成28年度	129,358	1,904	577	378	71	692	60	8	2	4	112	平成29年度	128,311	2,098	495	479	58	841	83	2	9	5	126	平成30年度	127,306	2,474	480	625	42	1,048	110	9	3	4	153	令和元年度	126,598	2,702	479	692	35	1,130	160	12	3月	5	189	技能実習 2号口	技能実習 1号口	永住者	技能実習 3号口	技術・人 文知識・ 国際業務	日本人の 配偶者等	留学	興行	定住者	特別永住 者	家族滞在	特定活動	教育	特定技能 1号	技能	経営・管 理	永住者の 配偶者等	高度専門 職1号口	計	1,277	691	208	104	90	69	58	49	38	33	20	17	16	16	7	4	4	1	2,702
年度	総人口	外国人数	中国	フィリピン	韓国	ベトナム	カンボジア	米国	英国	カナダ	その他																																																																																																																
平成26年度	130,911	1,402	692	262	32	255	19	7	1	4	130																																																																																																																
平成27年度	130,023	1,590	635	308	31	451	34	8	2	4	117																																																																																																																
平成28年度	129,358	1,904	577	378	71	692	60	8	2	4	112																																																																																																																
平成29年度	128,311	2,098	495	479	58	841	83	2	9	5	126																																																																																																																
平成30年度	127,306	2,474	480	625	42	1,048	110	9	3	4	153																																																																																																																
令和元年度	126,598	2,702	479	692	35	1,130	160	12	3月	5	189																																																																																																																
技能実習 2号口	技能実習 1号口	永住者	技能実習 3号口	技術・人 文知識・ 国際業務	日本人の 配偶者等	留学	興行	定住者	特別永住 者	家族滞在	特定活動	教育	特定技能 1号	技能	経営・管 理	永住者の 配偶者等	高度専門 職1号口	計																																																																																																									
1,277	691	208	104	90	69	58	49	38	33	20	17	16	16	7	4	4	1	2,702																																																																																																									
在住外国人の 日本語教育の現状	現在、地域日本語教室やつしろクラブが小規模で外国人市民向け日本語教室を開設している。 場所:八代教育会館(市街地) 運営人数:12名 平均年齢:70代 ＜ベトナム・インドネシア技能実習生向け講座(月3回)＞受講者数:平均7名 他、要望に応じて、受講者宅へ赴き指導を行うこともある。																																																																																																																										

2. 事業の内容

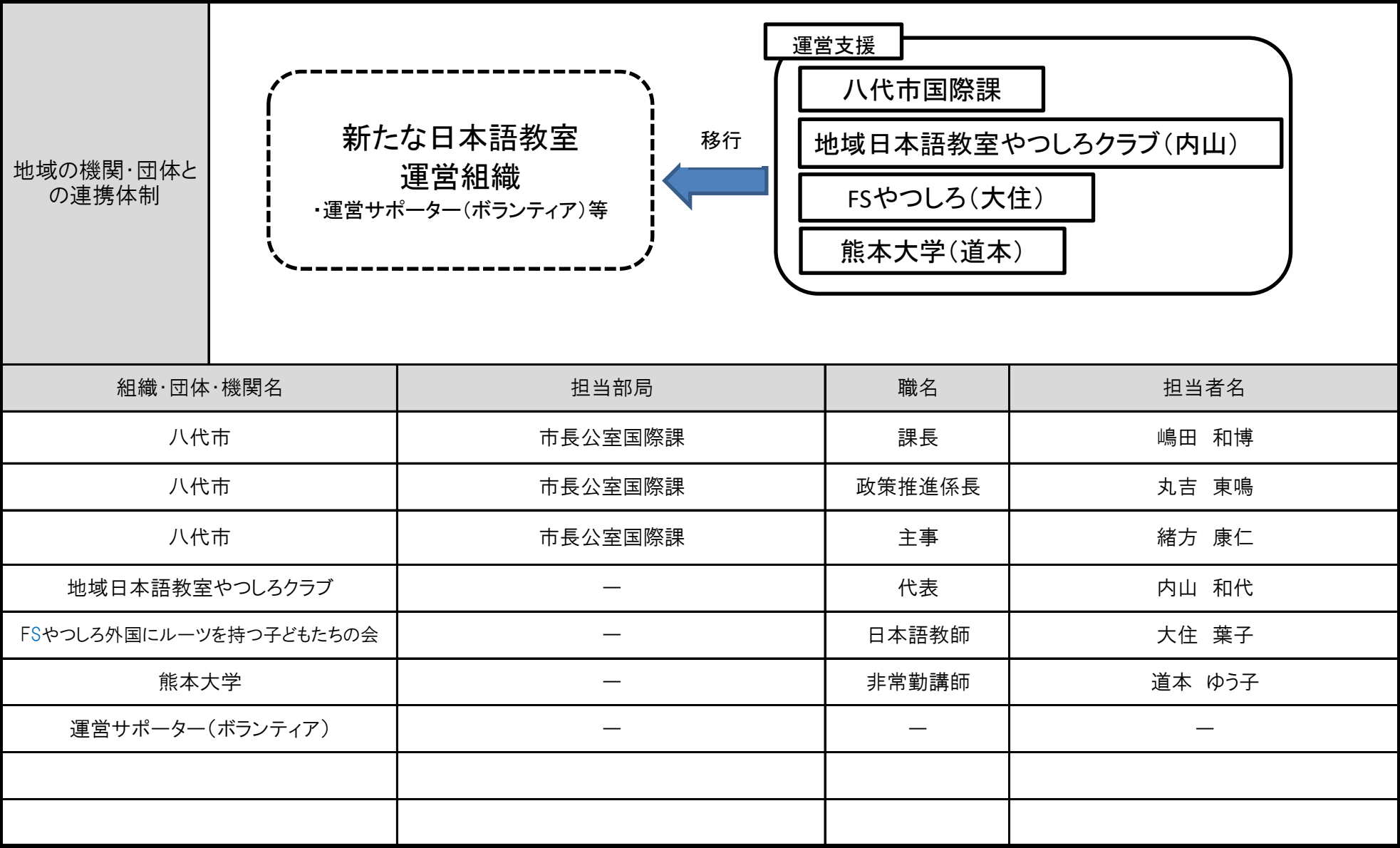
本プログラム取組年数	1 年目			
事業の目的	・1年目は準備期間として位置づけ情報収集・調査・研究・協議等を行い、本市の特色にあった日本語教室の運営・手法を検討する。本市が策定した「やつしろ国際化推進ビジョン」の基本指針に基づいて、下記に掲げる方針の下、日本語教室の開設を目指す。 (1)八代市に住むすべての外国人市民が自信をもって生活できる力が身につく教室 (2)日本人市民も外国人市民も互いが学び合える多文化共生の推進を担う教室 (3)外国人市民が気軽に通いやすい教室 (4)八代の魅力(文化やイベントなど)が学べる教室 ・日本人市民と外国人市民の交流拠点となる日本語教室の設置により、やつしろ国際化推進ビジョンに掲げる多文化共生のまちづくりの推進や目標とする都市像である「世界の笑顔が花咲く国際都市やつしろ」の実現を目指す。			
事業の概要	＜本市の特色にあった地域日本語教室の運営体制の研究＞ ➢先進地自治体等への視察 ・新宿区立大久保小学校、しんじゅく多文化共生プラザ、千葉市国際交流協会、千葉県銚子市を訪問し、日本語教室運営状況や地域国際化協会の運営方法などを視察し、情報収集・意見交換を行った。 ➢文化庁主催の研修等への参加 ・空白地域解消推進協議会、地域日本語教育コーディネーター研修等に本市コーディネーターが参加し地域日本語教育に関する知識を獲得した。 ➢アドバイザー及びコーディネーター会議による協議 ・アドバイザー・コーディネーターと目指すべき日本語教室の方針設定、地域日本語教育の現状に関する学習、千葉県へ先進地視察を行った結果の報告等を行い、これから設立する地域日本語教室の設計に関する協議を行った。 ➢コーディネーターによる地域日本語教室試験教室の実施・研究 ・次年度実施する地域日本語教室の開催に向けて課題抽出や教室の雰囲気共有するために試験的に教室を開催し、課題抽出等を行った。			
事業の対象期間	2019年4月～2020年3月			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	嶋田 和博	八代市国際課	課長	全体コーディネート(事務総括)
	丸吉 東鳴	八代市国際課	政策推進係長	全体コーディネート(事務主査)
	緒方 康仁	八代市国際課	主事	全体コーディネート(事務主査)
	谷脇 信博	八代市市長公室	次長	助言
	山田 卓	八代市市長公室総合支援	主査	助言
	宇ノ木 寛文	熊本高等専門学校	教授 グローバルリーダーシップ育成センター 副センター長	分析・助言
	内山 和代	地域日本語教室やつしろクラブ	代表	助言
	大住 葉子	FSやつしろ外国にルーツを持つ子どもたちの会	日本語教師	調査・助言
担当アドバイザー	道本 ゆう子	熊本大学	非常勤講師	調査・分析・助言
	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	関口 明子	公益社団法人日本語普及協会 (AJALT)	理事長	新規(1年目)
	八木 浩光	一般財団法人熊本市国際交流振興 事業団	事務局長	新規(1年目)
	吉田 聖子	公益財団法人川崎市国際交流協会	評議員	新規(1年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1)地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容
(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月	●(4/22)キックオフ会議	アドバイザー・コーディネーター紹介 本市の国際化の現状について 事業計画作成に向けた協議	★事業計画について検討 (AD:関口、八木、吉田)
2019年 5月			
2019年 6月	●(6/13)第1回コーディネーター会議 △(6/28～29)空白地域解消推進協議会出席・新宿視察	【第1回コーディネーター会議】 本年度の事業計画説明 地域日本語教育のこれまでの現状と今後の展開について 【空白地域解消推進協議会・新宿視察】 協議会出席 しんじゅく多文化共生プラザ、新宿区立大久保小学校視察	★コーディネーター会議内での助言(AD:八木) ★新宿視察同行・現地での解説 (AD:関口、吉田)
2019年 7月			
2019年 8月	△(8/29～30)地域日本語教育コーディネーター研修(研修Ⅰ)	地域日本語教育のプログラムデザインについて学習	
2019年 9月			
2019年 10月	○(10/1～3)先進地自治体視察(千葉県) ●(10/2)アドバイザー・コーディネーター会議(東京都・AJALT) △(10/28)スタートアッププログラム実施団体担当者情報交換会	【先進地自治体視察・アドバイザー・コーディネーター会議】 千葉県銚子市、千葉市国際交流協会で日本語教室の現場視察 AJALTを訪問しアドバイザーと今後の進め方について協議(コーディネーターによる試験教室の実施について等) 【スタートアッププログラム実施団体担当者情報交換会】 文化庁からの報告や事例発表、2・3年目実施団体のポスターセッションが行われ各団体の取組みを情報交換	★視察同行及び今後の事業方針について検討 (AD:関口、八木、吉田)
2019年 11月	△(11/15)地域日本語教育コーディネーター研修(中間報告会)	地域日本語教育のプログラムデザインについて学習(中間報告)	
2019年 12月	●(12/20)第2回コーディネーター会議 ▼次年度提案書作成開始	【第2回コーディネーター会議】 千葉県視察報告 コーディネーター研修受講報告 コーディネーターによる試験教室の実施について協議	★コーディネーター会議内での助言(AD:八木)
2020年 1月			
2020年 2月	□(2/13)地域日本語教育座談会 ●(2/14)年度末アドバイザー・コーディネーター会議 □(2/14,2/21)地域日本語教育試験教室の実施・研究(全2回)	【地域日本語教育座談会】 地元ボランティア団体と改正入管法・地域日本語教育の現状について学習 【年度末アドバイザー・コーディネーター会議】 次年度の活動、試験教室の実施を協議 【地域日本語教育試験教室】 全2回に渡ってコーディネーターが昭和地区にて試験的に教室を実施し課題を抽出	★次年度事業実施にかかる助言 ★座談会・市内視察 ★日本語教室試験実施に係る助言 (AD:関口、八木、吉田)
2020年 3月			

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
地域日本語教育座談会	2020年2月13日	八代市内で活動する国際交流ボランティア団体に対して、スタートアッププログラム事業における本市アドバイザー協力のもと座談会を開催。テーマを「改正入管法・日本語教育推進法」とし、解説いただき理解を深めた。 ～地域日本語教育座談会～ 日 時: 令和2年2月13日(木)18:30～19:30 場 所: 八代教育会館(八代市大手町1丁目59-2) 参加者: 地域日本語教室やつしろクラブ 5名 FSやつしろ～外国にルーツを持つ子どもたちの会 6名 市関係者 4名 内 容: ○改正入管法・日本語教育推進法の施行と現状 解説: 関ロシニアアドバイザー ○座談会 ファシリテーター: 八木アドバイザー
地域日本語教室試験教室の実施	2020年2月14日 ～2月21日	次年度の「生活者のための日本語教室」本格開催に向けて、試験的にコーディネーターで教室運営のデモンストレーションを行い、教室運営の雰囲気と共有するとともに課題点や不足する部分の抽出を行った。併せて、呼びかけた技能実習生の日本語レベルを測ることができたことから、次年度のカリキュラム設計に活かしたい。 (日程等) 日 時: 令和2年2月14日(金)、21日(金) 19:00～20:30 場 所: 昭和コミュニティセンター 健康増進室 学習者: 昭和地区に住むフィリピン人 (2/14)9名、(2/21)10名 学習時間: 1時間30分/回 (教室研究後協議・振り返り) 日 時: 令和2年2月14日(金)、21日(金) 20:30～21:30 場 所: 昭和コミュニティセンター 健康増進室 参加者: アドバイザー・コーディネーター

【主な活動】



地域日本語教育座談会



地域日本語教室試験教室(1)



地域日本語教室試験教室(2)

5. 今年度事業全体について

進捗状況	年度当初は順調に進捗していたが、本事業を中心的に行うコーディネーターが7月に急遽入院となり、1か月離脱したことが影響し、市民ニーズ調査、関西方面への先進地視察の実施が果たせなかった。進捗状況をアドバイザーに相談したところ、市民ニーズ調査については平成27年度地方創生推進交付金を活用して行った外国人市民向けアンケート調査で、ある程度日本語教室への需要は読み取れることから、まずは日本語教室を開きながらニーズ等を収集してみてもどうかというアドバイスをいただいた。そこで、コーディネーターによる試験教室を開催し、教室研究を行った。その結果、次年度の教室運営の基盤構築に欠かせない課題の抽出やアイデアが生まれ、採択1年目の準備期間として十分な成果を得ることができた。
成果	・文化庁地域日本語教育コーディネーター研修や空白地域解消推進協議会、コーディネーター会議内における地域日本語教育の現状についての研究などによりコーディネーターが地域日本語教育に関する知識を習得できた。 ・先進地(しんじゅく多文化共生プラザ、千葉市国際交流協会、銚子市)視察実施により日本語教室の運営ノウハウや情報が獲得できた。 ・地域日本語教室試験教室の研究によって次年度の教室運営に繋げる課題抽出ができた。 ・次年度の日本語教室実施に向けた教室の基盤構築ができた。
地域の関係者との連携による効果	・アドバイザーに依頼して行った関係ボランティア団体向けの地域日本語教育座談会にて、団体会員の地域日本語教育に関する知識の習得ができたほか、意見交換を行ったことで関係者との信頼関係の構築を図ることができた。
コーディネーターの主な活動	①会議などの開催 (66H) ②研修等への参加(28.5H) ③先進地視察(19.5H) ④試験教室の準備・実施・課題抽出(72.35H) ⑤事業の全体調整・庶務(200H)
アドバイザーの主な助言	・本市訪問時において本市の情報(外国人市民数や特色など)提供した際の分析・助言 ・本市が開催する「地域日本語教室」の目的や趣旨などといった骨格を形成するための考え方や留意すべき点などの教示 ・先進地視察を行う際の着眼点や注目すべき点などの教示 ・事業計画の修正に関する相談と助言 ・試験教室実施における注意点や手法への助言と実施後の振り返りにおける分析・課題抽出 ・次年度事業実施に向けた助言
今後の課題	これから本格的な日本語教室の開催に向けて取り組んでいくが、どの場面においても本市の地勢の広さが大きな課題となる。 今回はコーディネーターが中心となって試験教室を開催したが、次年度は新たな協力者(サポーター)を市民から募り育成していかなくてはならないことも重要な課題である。参加者へのアプローチとして教室を運営しながらニーズの収集を行うことも必要であると考えている。 また、教室運営を行うにあたってカリキュラムの設計や十分な教材のストックが重要であると感じた。試験教室ではうまくいった教室の形式も、実際に教室が本格始動した際にはうまく噛み合わず、調整が必要になる可能性があることを念頭に置かなくてはならないと考える。
今後の予定	令和2年度の主なスケジュール(案) ※研修等を除く (4月)アドバイザー・コーディネーター会議 (5月)協力者(サポーター)募集 広報誌・市HP・SNSなどを活用、コーディネーター会議 (6月)参加者募集 ※昭和地区に限定 広報誌・市HP・SNSなどを活用 (7月)協力者(サポーター)研修 2回開催、コーディネーター会議、先進地視察 (8月)教室開催 2回開催 (9月)教室開催 2回開催 (10月)アドバイザー・コーディネーター会議、先進地視察 (11月)協力者(サポーター)募集 広報誌・市HP・SNSなどを活用、コーディネーター会議 (12月)参加者募集 ※昭和地区に限定 広報誌・市HP・SNSなどを活用 (1月)協力者(サポーター)研修 2回開催、コーディネーター会議、先進地視察 (2月)教室開催 2回開催、年度末アドバイザー・コーディネーター会議 (3月)教室開催 2回開催 ～令和2年度の活動について～ ・会議での協議 ・教室カリキュラムの作成 ・協力者(サポーター)の募集、育成 ・受講者の募集 ・日本語教室の開催 ・文化庁主催研修への参加・先進地視察 ～令和2年度以降について～ 現在、国際交流協会の設立を本事業と並行して実施しており、本年度は、(仮称)八代市国際交流協会設立準備委員会を立ち上げた。 同協会は令和2年12月頃に設立を目指し、令和3年4月から本格的に活動を開始する予定としている。 本事業で行っている日本語教室の運営を国際交流協会の事業として行っていきたいと考えている。

本件担当 ： 八代市役所市長公室国際課政策推進係